



フレッシュズカフェで同級生と楽しく話す参加者



職場講演会で講師の説明を聞く生徒



若者労働者意見交換会で藤織さんの講演を熱心に聞く参加者

地域ぐるみでキャリア教育に取り組み、中学生が地域の企業で仕事を体験し、地域で働く人たちと交流することを通じて勤労観や職業観を育む「職場体験」。この職場体験の質を向上させるため、企業への勉強会や中学生への事前学習を実施しています。企業側には受け入れを行うことによる職員の意識向上や社会貢献などメリットの紹介や事例発表、中学生には働くことの意義や職場体験の目的、マナー

職場体験・講演会

一人一人の社会的、職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育てることを通じて、キャリア（経歴）発達を促す教育であるキャリア教育。市では学校教育段階におけるキャリア教育を推進し、地元を理解することにより若者定着を目指しています。平成27年にキャリア教育のより一層の推進を目的に「久慈市キャリア教育推進協議会」を設置し、各種事業を展開しています。

キャリア教育推進協議会

新卒者の離職率は全国的に高水準で推移し、若者の職場定着は重要な課題となっています。その中で地元で働いている若者が交流を深め、地元の魅力を再確認し、色々な悩みを共有できる場として意見交換会を久慈雇用開発協議会やハローワークと協力して開催しています。今年12月8日に市内催事場で交流会が開催され、市内の21事業所から38人の若者労働者が参加しました。地域おこし協力隊の藤織ジュンさんがヨソ者から見た久慈市の魅力やストレスの解消法などについて講演。意見交換では各テーブルごとに「仕事で悩んだ時のストレス解消方法」「働き続けたい会社はどんな会社？」「どんな上司のもとで働きたい？」という三つのテーマについて話し合い、意見を発表しました。参加者は個人的なストレス解消方法や、職場の頼りになる先輩の話などで盛り上がり、若者労働者の悩みを共有していました。

若者労働者意見交換会

市では大学卒業後に地元に戻り就職・定住する人を増加させるための事業も行っています。「社会人講話」は生徒の進路選択の助けとなるよう

大卒者の地元就職支援

6月には新社会人としてスタートした管内就職者を集めて交流する「フレッシュズカフェ」を開催。この事業では、同級生や高校の恩師との再会し、不安を解消し、リフレッシュすることで早期離職の防止を目的としています。当日は管内の事業所から48人が集まり、各高校ごとにテーブルを囲み、終始とても賑やかな様子でした。

フレッシュズカフェ

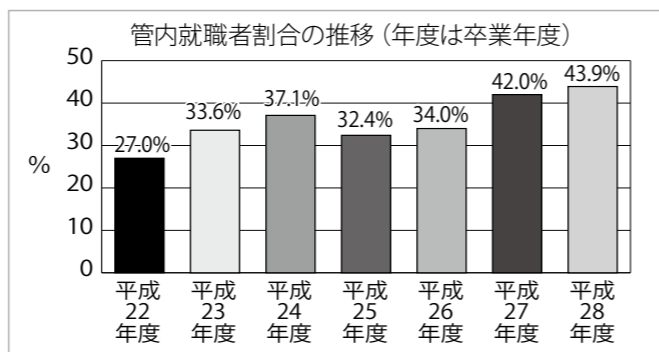
また、市内事業者を学校に招き、仕事内容や職業を選んだ理由などを生徒に伝える「職業講演会」も開催しています。9月13日に久慈中学校の2年生を対象に行われた職場講演会には23業者が参加。生徒たちは自分の興味がある事業者のブースで話を熱心に聞いていました。



高校生に企業の説明をする㈱ネクストの澤山拓リーダー

社会や仕事について理解を深める場の提供を目的として実施。大学で得た知識や技能を活かせる企業が地域にもあること、その企業の地域での役割を教えてください。また「高度人材育成事業」として、自動車用のソフトウェア開発を行っている㈱ネクストとアイシン・コムケルーズ(株)と連携協定を締結し、人材育成を行っています。平成31年度に久慈に㈱ネクストの事業所を開所する予定となっており、大学卒業者の就職先として、Kターン者の増加が期待されます。

奨励金制度やキャリア教育の推進、事業者と学校の情報共有の強化などにより、管内就職者の割合は着実に増加してきています。平成22年度には27%でしたが、平成28年度には約44%に増加。久慈東高校と久慈工業高校に限れば50%を超える割合となっています。今後も管内就職者割合が増加するよう、事業を継続・強化し、久慈市の将来を担う若者を地元に着させ、人口減少を少しでも食い止めるよう取り組んでいきます。



INTERVIEW



たしろ なおや 田代 直弥さん

㈱ヤマイチ
大学が終わった後、家の都合で久慈に戻ってきました。今の職場はその時に募集があったことがきっかけです。学生からずっと続けている野球を働きながらも職場や久慈クラブでも続けていけるので、すごく楽しいです。



とだて よしたか 外館 由隆さん

兼田建設(株)
高校を卒業後、就職しました。一人暮らしをする自信もなかったし、外に出るより地元の方がお金がたまると思い地元企業を選びました。震災後だったので、忙しかったけれど、いろいろ経験できたので、とてもためになりました。



こむら ゆうや 小村 侑也さん

久慈琥珀(株)
将来を考え、親や祖母と一緒に住むことを選びました。久慈の特産品を扱っている会社で、有名なこともあり就職しました。検品など厳しい仕事もありますが、先輩たちが分かりやすく教えてくれるので助かっています。



さかもと あきひろ 坂本 晟紘さん

(有)マルヒ製材
大学を卒業して就職しました。高校の時に地元のことを学んでいたのでも、地元に戻って貢献したいと思っていました。地元のアカマツを使っている会社だったので、地域に貢献ができるのではないかと思います。就職しました。